

表1. 2019/2020シーズン 抗インフルエンザ薬耐性株検出情報

最終更新日: 2021/03/25

	A(H1N1)pdm09						A(H3N2)						B				
	エンドヌクレアーゼ阻害薬						エンドヌクレアーゼ阻害薬						エンドヌクレアーゼ阻害薬				
	ノイラミニダーゼ阻害薬		M2阻害薬				ノイラミニダーゼ阻害薬		M2阻害薬				ノイラミニダーゼ阻害薬		M2阻害薬		
	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル	アマンタジン	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル	アマンタジン	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル
耐性株数 (%)	1 <sup>a</sup> (0.12%)	41 <sup>b</sup> (1.5%)	41 <sup>b</sup> (1.5%)	0	0	82 (100%)	0	0	0	0	0	37 (100%)	0	0	0	0	0
解析株数	831	2,658	2,658	375	375	82	80	90	90	90	90	37	130	149	149	149	149
分離・検出報告数	5,119						132						743				

エンドヌクレアーゼ阻害薬はFocus reduction assayおよびPA遺伝子シーケンス法により解析された。

ノイラミニダーゼ阻害薬はMUNANA基質を用いる蛍光法、NA-XTD基質を用いる化学発光法、real time RT-PCR allelic discrimination法およびNA遺伝子シーケンス法により解析された。

M2阻害薬はM2遺伝子シーケンス法により解析された。すべての耐性変異株は、S31N耐性変異をもっていた。

<sup>a</sup> うち薬剤未投与例 1

<sup>b</sup> うち薬剤未投与例 28、薬剤投与例 11、不明 2